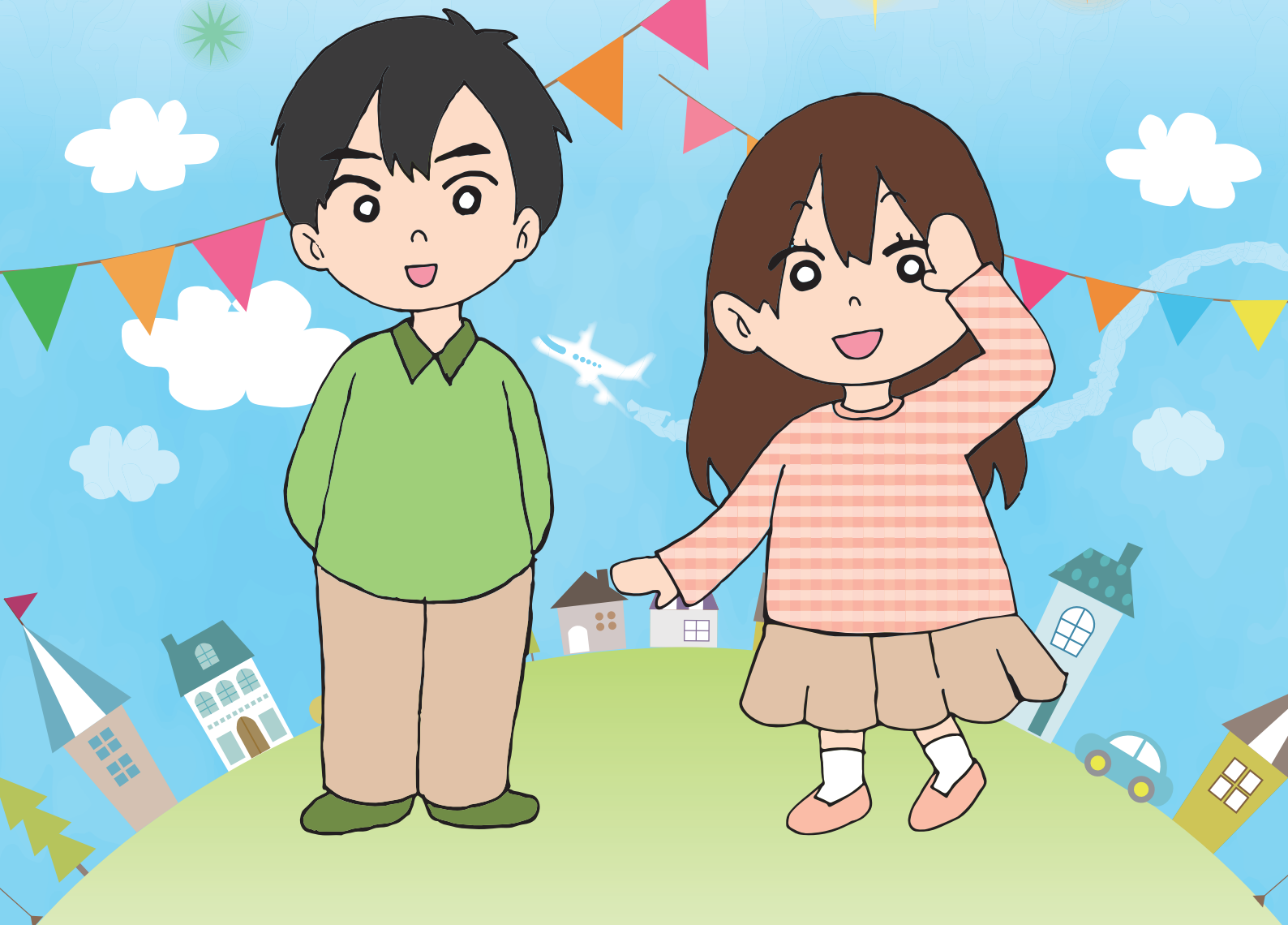


だん じょ きょう どう さん かく
子ども向け男女共同参画パンフレット

わたしが
キラリ!
みんなが
キラリ!



令和8年

福井県

あなたへのメッセージ

あなたは

「女の子だから」「女の子なのに」とか「男の子だから」

「男の子なのに」と言われたことはありませんか。

そのとき、あなたはどう思いましたか。

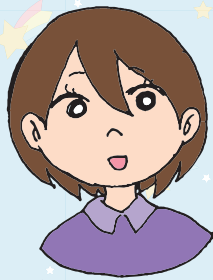
みなさんは、「女の子だから」とか「男の子だから」ということだけで、自分のやりたいことや好きなものを選べなかったら、どうでしょう。

一人ひとりが「自分らしく」のびのびと、そして仲よく生きていくためには、何が大切だと思いますか。

この本には、そのヒントがあるかもしれません。

「女の子」「男の子」にこだわらず、“自分らしさ”を大切にすることとはどういうことか、友達やおうちの人といっしょに考えてみましょう。

もくじ



あなたへのメッセージ	1
自分らしさでキラリ☆	2
みんなでやれば楽しいね♪	3
“ありがとう”ってステキ	4
男の仕事？女の仕事？	5
あれ、どうなんだろう？	6
考えてみよう！	7
みんなが主役！ わが家の「チームワーク」	8



得意なことも。苦手なことも。

自分らしさでキラリ☆



サッカーが上手な女の子、料理が得意な男の子をどう思いますか？
あなたは、どんなことが得意ですか？どんなことが好きですか？
自分についてみつめてみましょう。



おうちのかたへのメッセージ

人間には、生まれつきの生物学的な性別があります。一方「女の子は赤いランドセル」とか「男の子は泣いちゃだめ」という決めつけは、社会や文化が作り上げた「ジェンダー(社会的性別)」といえます。ジェンダーにとらわれて、「男の子」「女の子」を区別することは、子どもの行動やものごとへの関心を制限することにつながるのではないのでしょうか。

子どもがもつ個性を大切に考えることで、子どもたちの可能性はもっともっと広がっていきます。

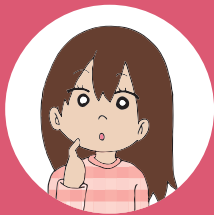
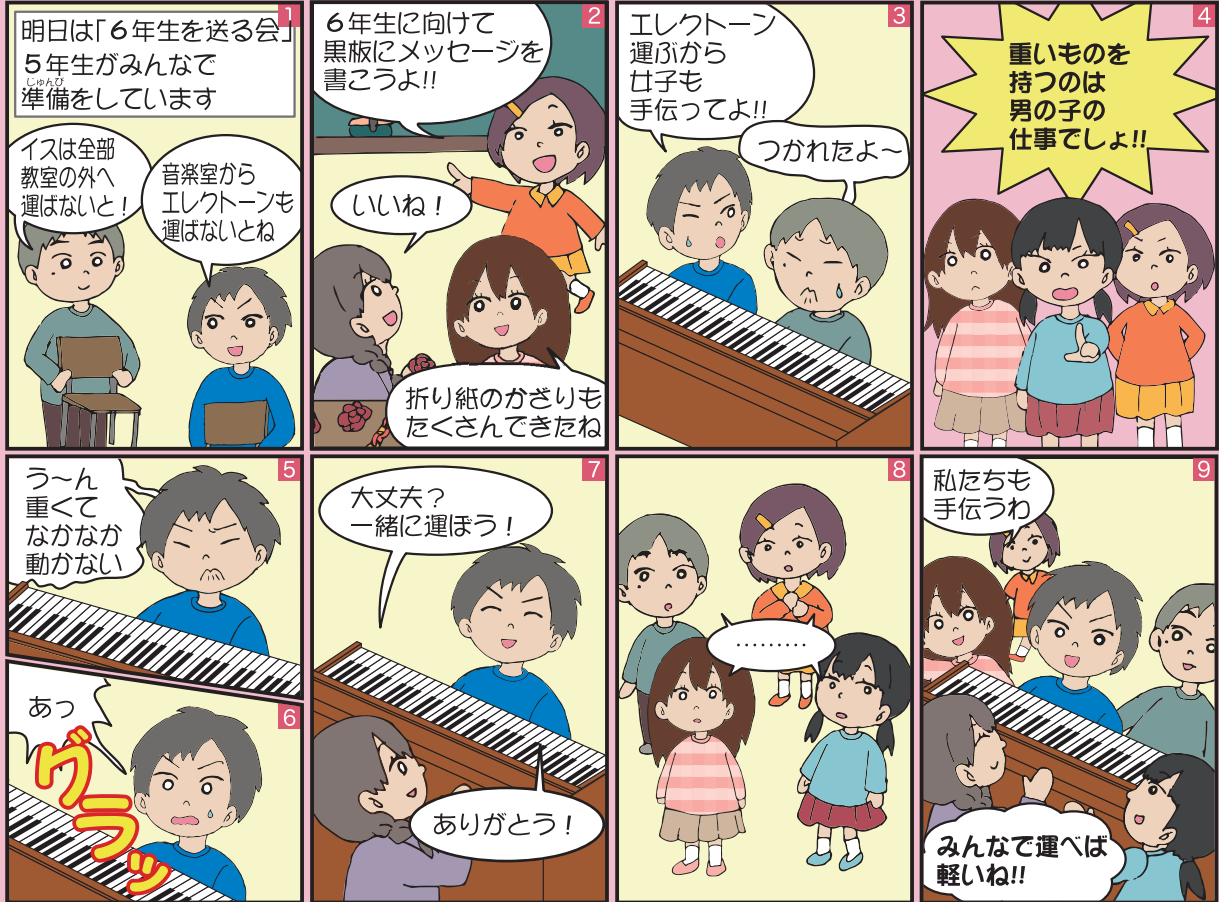
「ジェンダー(社会的性別)」の視点とは

「ジェンダー」は、それ自体に「良い」「悪い」の価値を含むものではなく、国際的にも使われている言葉です。「ジェンダー」が固定的性別役割分担や偏見につながる場合もあり、これらが社会的に作られたものであることを意識していこうという視点です。



一人より二人。二人より、

みんなでやれば楽しいね♪



クラスの人々と協力して、助け合ったことがありますか？
その時どんなことを感じましたか？



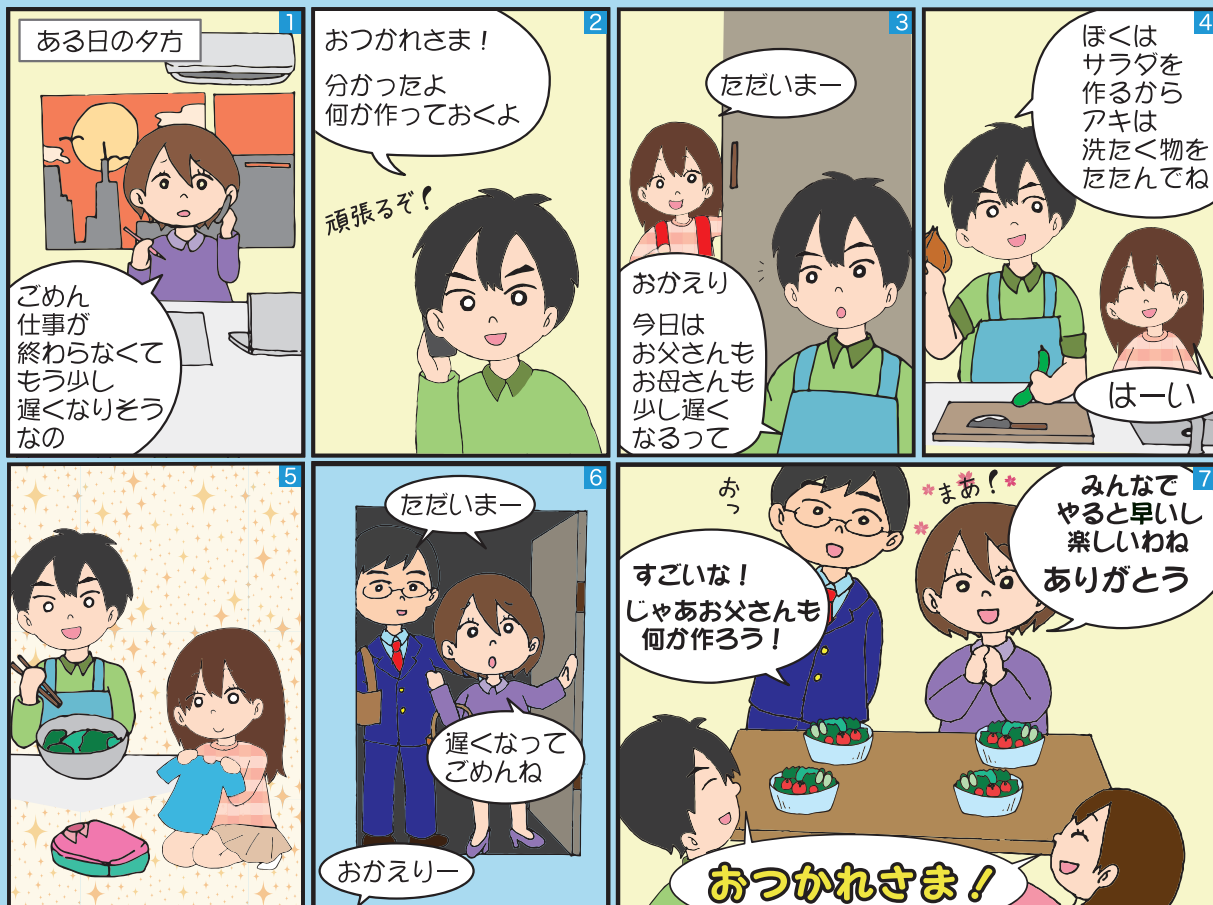
おうちのかたへのメッセージ

男女平等とは、男女が全く同じことをするというものではありません。しかし、性別だけで「男子の役割」「女子の役割」と決めてしまうことは、とても窮屈ではないでしょうか。

「勇気・たくましさ・やさしさ・思いやり」などの性質は、男子にも女子にもある性別に関わらない個性です。

それぞれが、自分のできることを考え、みんなで協力し助け合っていくことで、楽しい学校生活や友達との関係を築いていくことができます。

“ありがとう”ってステキ



おうちの中には、どんな仕事がありますか？
みんなで協力していますか？
あなたが家族の思いやりを感じるの、どんな時ですか？



おうちのかたへのメッセージ

1999年に「男女共同参画社会基本法」ができました。この法律は、男女がともに社会、仕事、家庭生活などに参画し、喜びや責任をお互いに分かち合う社会を目指しています。

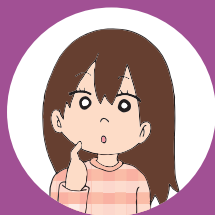
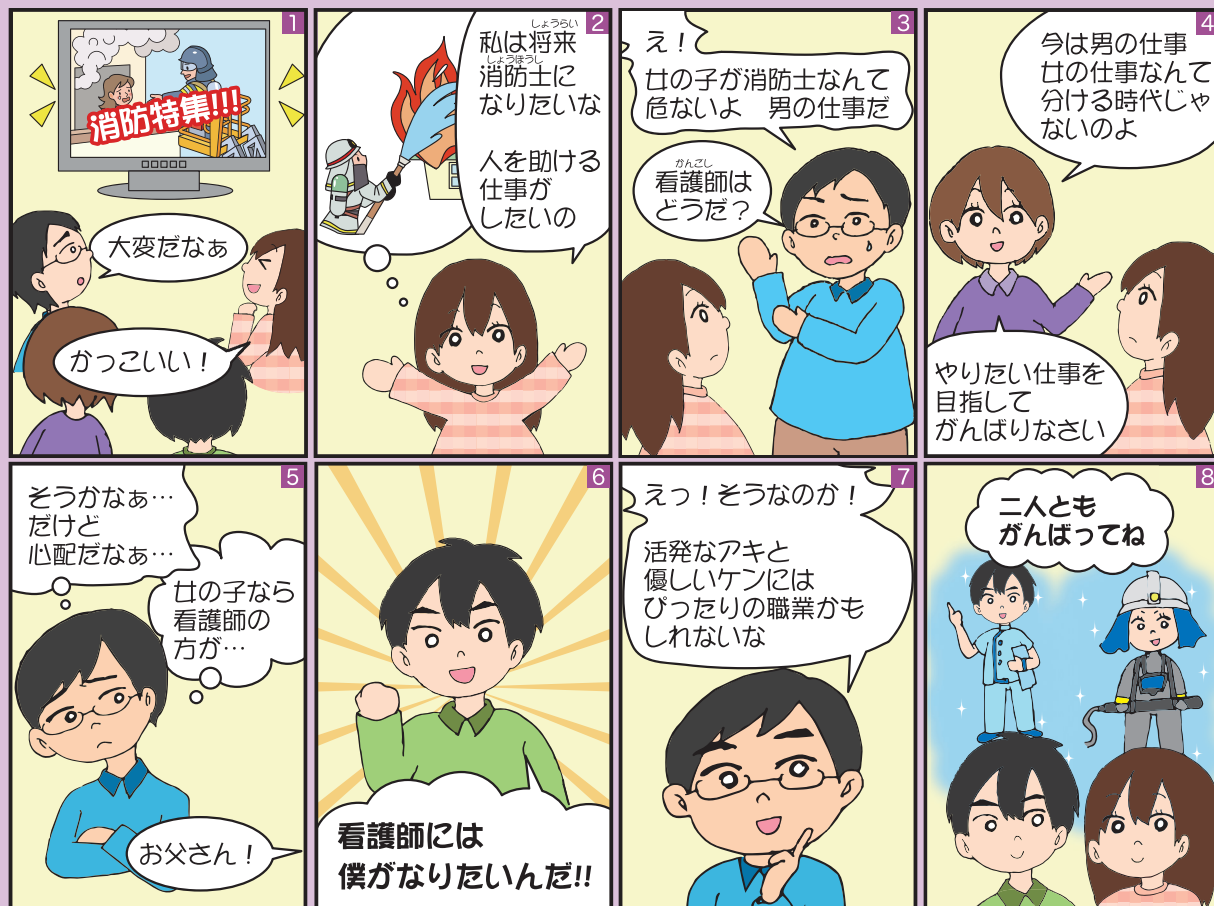
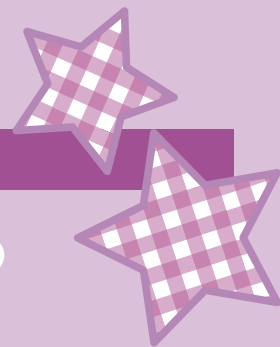
しかし、現実では「固定的性別役割分担意識」として「女性は家事や育児などをして、男性は外で仕事をやる」などといった思い込みが根強く残っています。一人ひとりの個性や能力に関係なく、性別によってライフスタイルを決めつけていることがありませんか。

男女共同参画社会の実現の一步は、まず、家族がお互いの立場を理解し支え合う楽しい家庭づくりからはじまります。



大人になったら

男の仕事？女の仕事？



大人になったらどんな仕事がしたいですか？

アキとケンの将来の夢をどう思いますか？

男でなければできない仕事、女でなければできない仕事ってあるのでしょうか？



おうちのかたへのメッセージ

男の子も女の子も、将来の夢は、様々な希望と可能性に満ちています。

「男女雇用機会均等法」で男女の差別は禁止され、性別にとらわれることのない仕事選びができるようになりました。しかし、いまだに大人たちが固定概念で性別による職業の向き、不向きを子どもたちに押しつけてしまうことがあります。子どもたち一人ひとりの希望する生き方や夢の実現をせばめ、能力を発揮するチャンスを奪ってしまうことは、あってはならないことです。

たくさんの可能性の中から、自分らしい仕事や生き方を主体的に選んで、自己表現を図っていけるよう、また、子どもたちの将来にとって固定的な意識が障害とならないようにしていきたいですね。

あれ、どうなんだろう？



テレビで、女の子が多く出てくるのはどんな場面ですか？
男の子が多く出てくるのはどんな場面ですか？
テレビに出てくる登場人物が男女反対になったらおかしいでしょうか。考えてみましょう。



おうちのかたへのメッセージ

現在、子どもたちの周りにはテレビやインターネットなどのメディアを通じて、日々大量の情報が溢れています。

メディアを通じて流れてくる情報は、私たちの生活を豊かなものにする一方で、無意識のうちに固定的な性別役割分担意識を植え付けたり、女性の尊厳を傷つけたりするような内容を含んでいます。

このようなメディアからの情報を、当たり前のこととして受け入れることのないよう、子どもたちの自ら考え主体的に判断できる力を育てていきたいものです。

考えてみよう！

※ 4 ページを読んでからやってみましょう。

あなたの家では、だれがどんな家庭の仕事をしていますか？

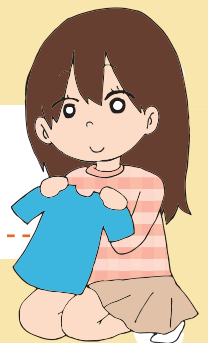
下の表に書いてみましょう。

ほとんどする人に◎をつけましょう。ときどきする人に○をつけましょう。

家族 仕事	わたし				
食事の準備					
食事の後かたづけ					
ごみ出し					
買い物					
洗たく					
洗たく物をたたむ					
部屋のそうじ					
おふろのそうじ					

家庭の仕事は、みんなが気持ちよく生活するためのものです。
家族みんなで協力しあうことが大切です。

★あなたがこれからしようと思う家庭での仕事を書いてみましょう。



※ 5 ページを読んでからやってみましょう。

あなたの好きなことはなんですか？

★自分の好きなことや得意なことはなんですか？

★大人になったらどんな仕事がしたいですか？



友達と好きなことや将来の仕事について話してみましょう。
自分らしいところをみつけて、自信をもつてのばしていきましょう。

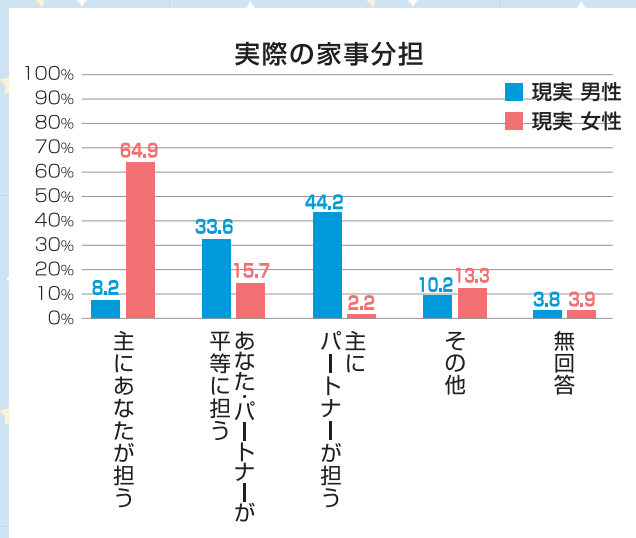
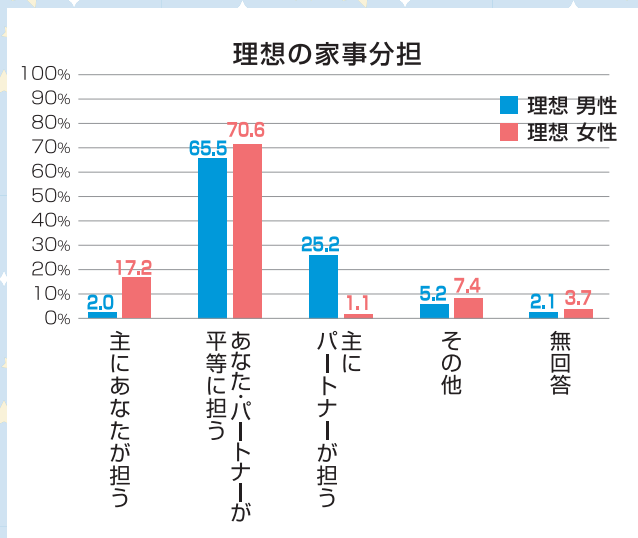
みんなが主役！わが家の「チームワーク」

【理想と現実、どのくらい離れている？】

福井県が行ったアンケートでは、男性も女性も約7割の人が「家事はパートナーと平等に分担したい」と考えていることが分かりました。しかし、実際の暮らしを見てみると、女性の約3分の2が「主に自分が家事をしている」と答えています。また、男性の約半数が「パートナーが家事をしている」と回答しています。

「協力したい」という思いはみんな持っているのに、現実はどこか一方に負担が偏ってしまっているようです。大人が無意識に持っている「家事は女性がするもの」という思い込みが、知らず知らずのうちに、子どもたちの自由な未来や可能性を狭めてしまっているかもしれません。

(問) 理想の家事分担について、あてはまるもの1つに○を付けてください。また、実際の家事分担について、あてはまるもの1つに○を付けてください



「見えない家事」に気づくことから始めよう

家事は、料理や掃除だけではなく。

- ・「今日のご飯、何にする？」と一緒に献立を考えること
- ・お出かけ前に、電子機器の電源を切ったりカーテンを閉めたりすること
- ・消耗品のストックを気にかけておくこと
- ・お互いの家事の仕方を認め合い、任せ合うこと

こうした「名もなき家事」に家族みんなが主体的に関わることで、わが家はもっと素敵な「チーム」になれるはずですよ。

「男だから」「女だから」ではなく、一人ひとりが得意なことや気づいたことを担当する姿。そんな姿を見て育つ子どもたちは、きっと性別にとらわれず、自分らしく輝ける未来を切り拓いていけるでしょう。



ふくい「しあわせ実感」パートナープラン

みなさんは、このパンフレットを読んでどのようなことを感じましたか？

「女の子だからこうなさい」とか「男の子はこうですよ」というように、性別だけでそれぞれの仕事を決めて押しつけたり、向き不向きを決めつけたりしないで、みんなが「自分らしく」生きることのできる社会を「**男女共同参画社会**」といいます。

みなさんが住んでいる福井県には、「福井県男女共同参画推進条例」というきまりがあり、男女共同参画社会にするために守らなければならないことが定められています。

条例で守るように決められていること

- ① 男の子や女の子にこだわらず、すべての人を大切に思いましょう。
- ② 「女の子だから」とか「男の子だから」といって、差別したり、仕事を決めて押しつけたりすることはやめましょう。
- ③ 一人ひとりがもつ力の違いを理解し、もっている力を十分に出すことができるようなくみにしましょう。
- ④ 何かを決めるときには、女の子も男の子も、よく考え、よく発言し、お互いの意見を聞きながら、公平に進めていきましょう。
- ⑤ 男の子だけが得をしたり、女の子だけが得をしたりするような決めごとをなくして、平等になるようにしましょう。
- ⑥ 家族みんなで協力し合って、家庭の仕事を分担しましょう。
- ⑦ 悪口を言って相手を傷つけたり、暴力を振るったりしてはいけません。



子ども向け男女共同参画パンフレット



令和8年

ふくいけん みらいそうぞうぶ じょせいかつやくか
福井県未来創造部 女性活躍課

〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1

TEL.0776-20-0319

(法務省委託事業)